



RIDING SACK 18

ライディングザック18〈取扱説明書〉

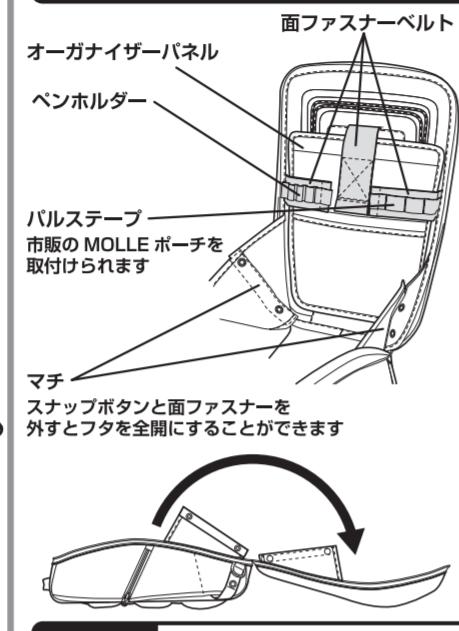
●この取扱説明書をよくお読みの上、安全に正しくご使用ください。
●この取扱説明書はお読みになった後も、いつでも見られるように大切に保管してください。

バッグの使用方法

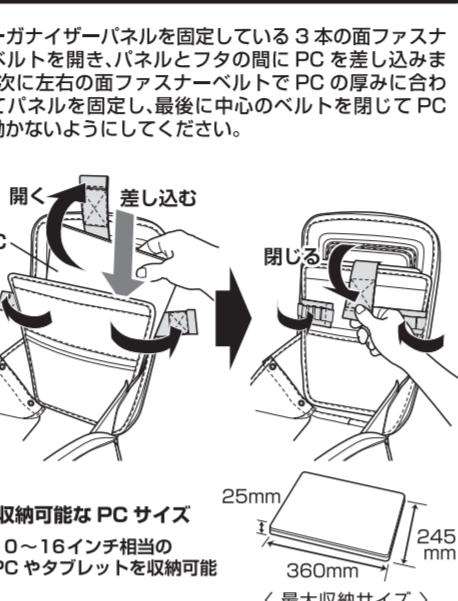
各部名称(外部)



各部名称(内部)

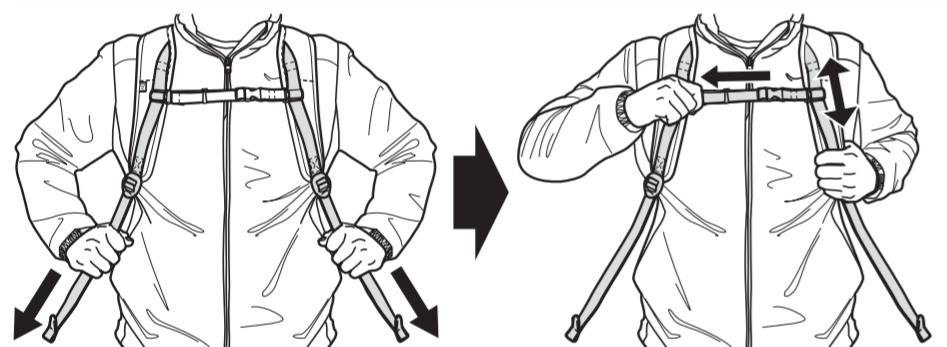


PC収納の使用方法



△注意 ●PCやタブレット端末を収納する際は脱落防止の為、必ず面ファスナーベルトでオーガナイザーパネルを固定してください。
●PCやタブレット端末が小さすぎる場合は機器が充分に固定できない場合があります。

ショルダーベルトの調整方法



1 ショルダーベルトを左右均等に締めます。なるべくきつく締めることでバッグが体に密着し荷重を分散できます。

2 チェストベルトのバックルを留め、上下方向に動かして締めても苦しくない位置に調整し、チェストベルトの長さを調節します。

ワンポイントアドバイス

ショルダーベルトを締めた際に余ったベルトはバッグ側面のDリングに通すことで走行風によるバタつきを抑えることができます。

△ 使用上の注意

- 法定速度内でご使用ください。
- 最大積載量(5.0kg)を超える積載は脱落や車両の破損の恐れがあるのでお控えください。
- 走行による振動等でKシステムベルトや固定ベルトが緩む場合があります。走行前には緩みがないか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。
- 角が鋭い重量物を入れると、内袋が破損する恐れがあります。その場合はパッキン等で包んで収納してください。
- 携帯ガソリンボトル、ガスボンベ等、引火性の強い危険物は火災の原因になりますので、収納しないでください。
- 林道や砂利道などの荒れた路面では振動でバッグが脱落する恐れがあります。路面の状況やスピードに充分注意して走行してください。
- バッグは生地や縫合方法などで耐久性は充分に考慮されていますが、着脱時、ファスナーの開閉、バックルの扱いなどで無理な力を加えたり無理な扱いをすると破損する恐れがあります。
- 大変にお取り扱いください。
- 寸法・容量等の表記につきましては、個体別の誤差が生じる場合がございますので予め御了承ください。
- 仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
- 取扱説明書に書かれている指示及び警告に従わない誤ったご使用により損害が発生した場合、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

△ザック使用時の注意

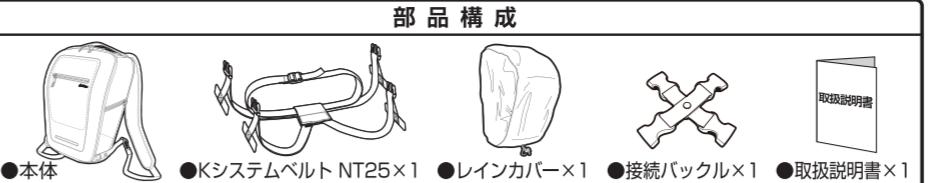
- 走行時、コーナー(道路)でのバイクの過度な倒しこみは不安定になるのでやめください。
- ご使用に伴う湿気(汗)と摩耗により衣類等へ色移りする場合がございますのでご注意ください。

保管とお手入れの方法

- 表面等の汚れは、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取って、良く乾燥させてください。
- 雨天走行等で濡れた場合は、そのままにせずバッグ内外の汚れと水分を拭き取り、すべてのファスナーを開いてから、日陰の風通しの良い所で乾燥させてください。
- 保管の際は乾拭き・陰干しをしてから湿度、温度が低く風通しの良い場所に保管してください。

△ 注意

- ベンジン、シンナー、ガソリン等の有機溶剤の使用、及び水での丸洗いは生地を傷める原因となりますのでお避けください。

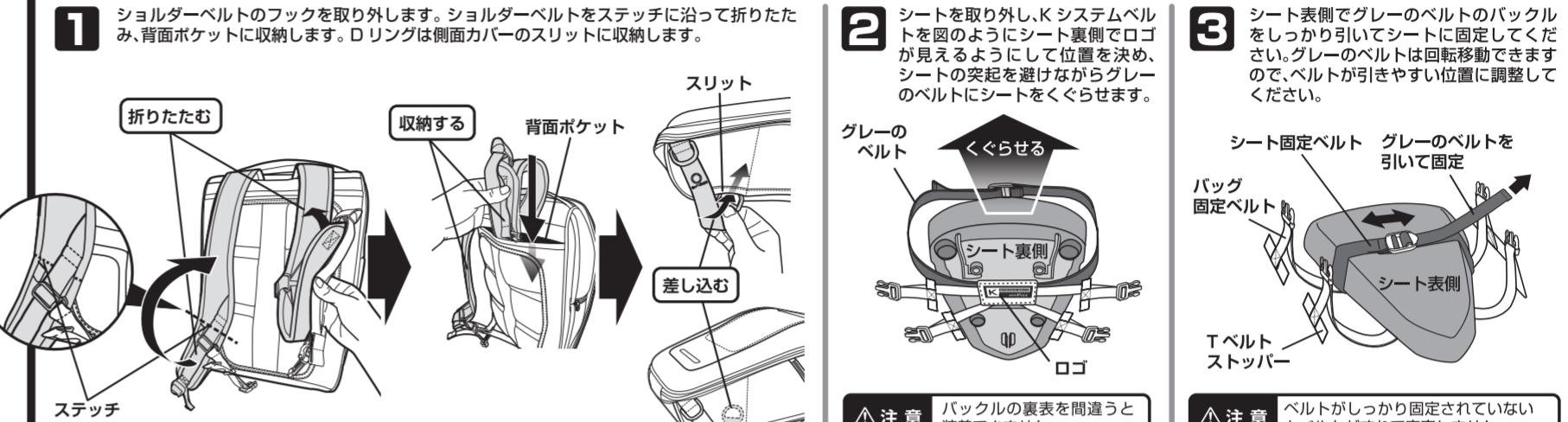


補修パーツ
(消耗品パーツ)
のご案内
お求めはお近くの
「モトフィズ」取扱店
にてご注文ください。

部品番号	名 称	セット数
MP-345T	Kシステムベルト NT25	1本
MP-346	レインカバー	1個
MP-347	接続バックル	1個
●オプション MP-348T	固定ベルト	1本

バイクへの取り付け方法

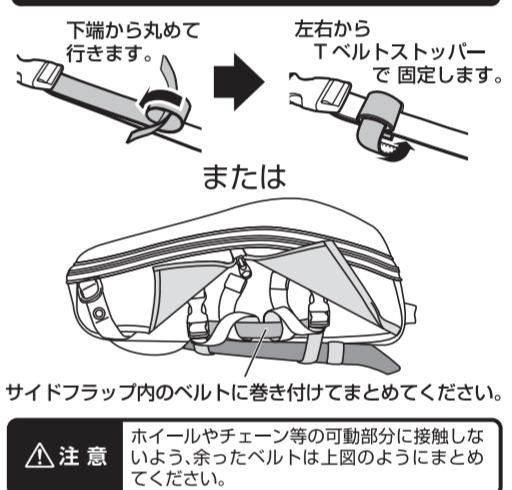
シートへの取り付け 《 KシステムベルトNT25を使用 》



△注意 バックルの裏表を間違えてしまうと装着できません。

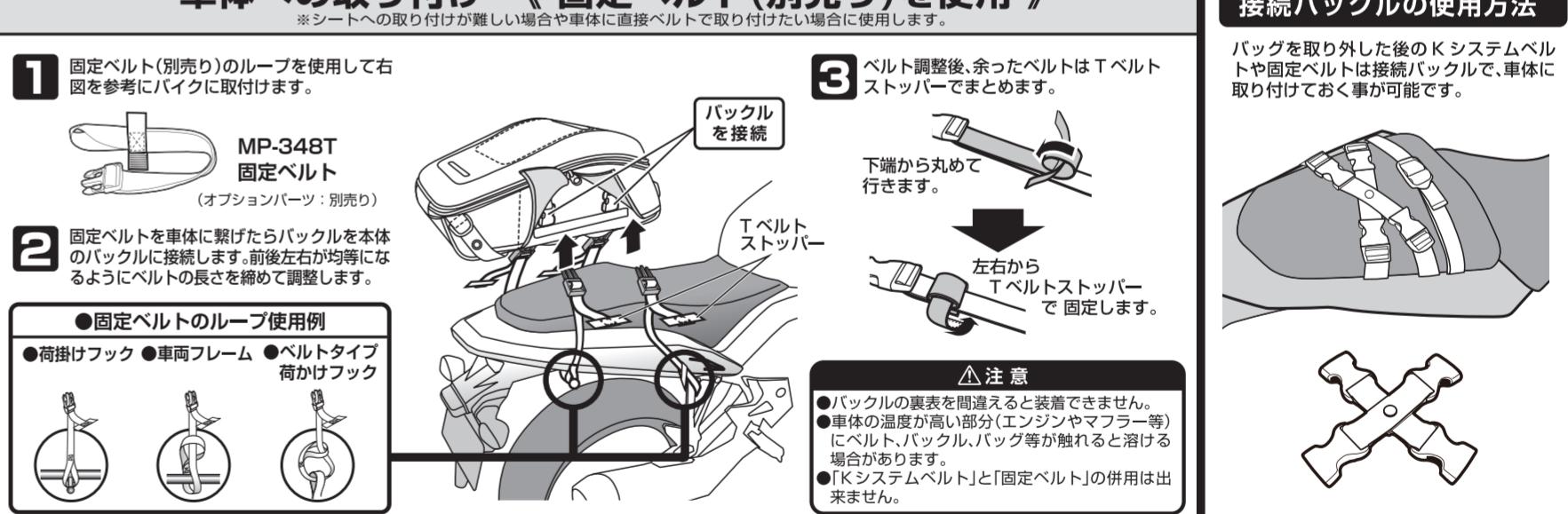
△注意 ベルトがしっかりと固定されていないとベルトがずれて安定しません。

余ったベルトの収納方法



△注意 ホイールやチェーン等の可動部分に接触しないよう、余ったベルトは上図のようにまとめてください。

車体への取り付け 《 固定ベルト(別売り)を使用 》



△注意 バックルの裏表を間違えてしまうと装着できません。

△注意 ベルトが車体側のフレームやフックに挟まれて破断する事のないように注意ください。

△注意 ベルトがねじれでバックルの向きが変わると固定できません。ベルトがねじれで挟まれていないか確認して、シートを戻してください。

△注意 ベルト調整後、余ったベルトはTベルトストップでまとめてください。

△注意 下端から丸めて行きます。

△注意 左右からTベルトストップで固定します。

△注意 サイドフラップ内のベルトに巻き付けてまとめてください。

△注意 ホイールやチェーン等の可動部分に接触しないよう、余ったベルトは上図のようにまとめてください。

△注意 バックルの裏表を間違えてしまうと装着できません。

△注意 車体の温度が高い部分(エンジンやマフラー等)にベルト、バックル、バッグ等が触れると溶ける場合があります。

△注意 「Kシステムベルト」と「固定ベルト」の併用は出来ません。

△注意 バックルの裏